

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まめの木 おおつ野校(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 20日		～ 令和7年年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 20日		～ 令和7年年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 21日		

分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・看護師が常駐している。	・全ての利用者のケアをマニュアル化し、統一したケアを行えるようにしている。	・年に一度指示書を更新し、ケアが正しく行える様にしている。
2	・他職種が勤務しているため、細やかなケアが出来ている。	・PT、OT、STによる公平な割合でのリハビリの提供。看護師や児童指導員による入浴やレクの療育の提供。	・保護者のニーズに合わせた、ケアや療育が出来るよう職員間で情報共有の強化や統一した支援を行えるようにしていく。
3	・栄養士や調理師によるバランスの摂れた食事提供。	・個人に合わせた食形態やアレルギー対応をしている。また、季節を感じられるよう行事食や旬の食材を使ったメニューを提供している。	・食材に偏りがなく色々なメニューを考え提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリー化がされているが、スペースが狭い。	・エレベーターや廊下、出入り口が狭い。活動スペースが狭いため大きなバギーやテーブルがあると目の高さにテーブルの角が来たり、突っかかり転倒リスクがある。	・利用人数の調整や配置の工夫をして安全に支援出来るようにしていく。
2	・レベルの高い療育について、知識を持っている職員が少ないため、児にあった療育が出来てない。(集団生活等)	・専門性の知識不足。	・交流保育を取り入れたり、保育の研修をし保育の視点を取り入れていく。
3	・夕方までの預かりが現状難しいので、家族のニーズに答えられない。	・人員確保及び、職員のスキル不足。	・人員確保はすぐにはできないため、職員のスキルアップを図る。